

新しい(NEW)理想郷(UTOPIA)

NEW TOPIA

N.139

2024 4.15

岸和田市国際親善協会だより

INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

にゅとぴあ岸和田

地球村フッキング
パキスタン編

日本語ボランティア
レベルアップ講座

フォトサロン
日本語サロンイベント特集

韓国高校生ホームビジット
～日韓の架け橋～

ホームビジット
トルコ モルディブ
スリランカ モンゴル

連載

English Open Café

連載

世界の民族衣装
中国編

にほんご きしわ だじょう さくら
やさしい日本語 「岸和田城と桜」



Since 1989

にゅとぴあ
岸和田市国際親善協会

「岸和田城と桜」

表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。





地球村クッキング

岸和田市在住のファイサル・エニさんを講師にお招きして、パキスタン料理を教えてくださいました。

エニさんは、パキスタン東部ラホール市の出身で、その地方では鶏肉やラムなど肉料理が好まれているそうです。



(左) SAMOSA (サモサ)
(左上) ライスキーマ (ライスフディング)
(中央) ビリヤニ
(右) チャイ

今回のメニューの一つ
ビリヤニは家庭料理で、
ロング米のご飯と野菜や
ヨーグルトを加えたチキン
グレイビーソースを何層にも鍋の中で重ねて加熱するという調理方法が珍しく、皆さん興味津々です。スパイスから作るチャイも大人気。香りが部屋に広がりました。

～パキスタン編～



03.03(日)

参加者は 30 名で、そのうち日本語サロンの皆さんが、各テーブルにいて「やさしい日本語」で会話が弾んでいました。



エニさんも参加者の皆さんも、いろいろな国の出身の皆さんと一緒に料理ができて楽しかったとコメントしてくださいました。

『広報きしわだ』やチラシを見て地球村クッキングを知ったという多くの方にもご参加いただき、共同作業を通してできる国際交流を楽しんでいただきました。ぜひまた親善協会の催しにお越しください。
(取材：広報部 三森すみ代)



日本語ボランティア レベルアップ講座

02.24(土)

～日本語0(ゼロ)レベルの学習者への教え方をシェアしましょう～

岸和田市内の5つのサロンで活動する日本語ボランティアを対象としたレベルアップ講座が、21名の参加者自身によるグループワーク形式で開催されました。テーマは日本語0(ゼロ)レベル=日本語学習未経験の学習者への教え方。経験のある方は実際に使用したテキストなどの教材を見せながら経験談を話され、未経験の方は日本語も共通言語もない場合のコミュニケーション方法や日本語の教え方など



についてのお悩みを相談されました。最後は各サロンが一同に集まる貴重な機会ということで、ざっくばらんにおしゃべりして交流する時間も設けられました。



日本語が全く通じず、言葉での意思疎通が難しい相手とのコミュニケーションの手がかりを探すにはさまざまな「準備」や「工夫」そして「アイデア」も必要で、うまくいかず苦勞することもあります。そんな楽しさや苦勞もみんなで共有することこそがレベルアップの近道であることを実感できる、貴重な時間となりました。



(取材：広報部 茶木花菜)

やさしい日本語をしましょう。

きしわだじょう さくら
岸和田城と桜

きしわだじょうてんしゅ ねん かみなり お や
岸和田城天守は 1827年に 雷が 落ちて 焼けて なくなりました。
いま てんしゅかく ねん つく ことし さい
今の 天守閣は 1954年に 作られました。今年 70歳に なります。
がつ の おわりから がつ はじめに ぼん さくら さ
3月の おわりから 4月の はじめに 170本の 桜が 咲きます。

とても きれいです。
よる み
夜も 見ることが できます。

「やさしい日本語をしましょう」冊子
日本語の用例を生活シーンに分けて
わかりやすく掲載した冊子です。
★希望者は事務局にて手渡しましたは、
HPから無料ダウンロード頂けます。





フォトサロン 日本語サロン各教室の楽しい催し特集!

年末年始に、日本語サロン各教室で行われた楽しい催しをピックアップしました。



福祉総合センター「書き初め大会」

上手に書こうと頑張った人から、願いを込めた書初めまで。みんなで書きました!



春木市民センター「たこ焼きパーティー」



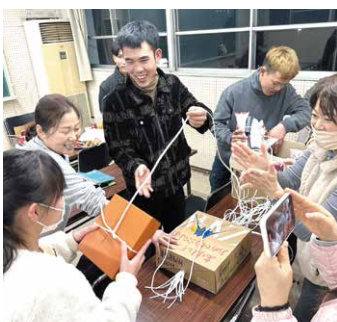
中央地区公民館「クリスマス食事会」

お料理を作るところから「みんなで楽しむ」お食事会でした!!



箕土路青少年会館「新年会」

楽しいゲームに千本引き、最後はしめ縄で記念撮影。今年もよい年になりますように!





フェルナンダさん (Maria Fernanda Espinoza Bonifacio)

12.16(土)

メキシコ



12月のゲストはメキシコ州トルカ出身のフェルナンダさん21歳です。関西大学の留学生で国際ビジネスを学んでいます。9月から吹田の寮に住んでいて2024年2月に帰国です。「だんじりインフォメーションセンター」にも来てくれました。

メキシコの大切な日「死者の日」について話されました。「死者に捧げる先住民の祭礼行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、映画

「リメンバー・ミー」で紹介され世界的にも注目されることになりました。11月1日～2日に行われガイコツに仮装したパレードは有名です。故人の魂がこの世に戻ってくるとされ各家庭で祭壇が設けられ先祖の墓を飾り付けます。日本のお盆に似ています。

違うところはカラフルな切り紙「パペルピカド」やガイコツの人形、死者のパン、オレンジの花です。

最後に唐辛子入りのお菓子「プルパリンド」を頂き、そのピリ辛で甘酸っぱい味に「クセになりそう」と皆さんメキシコの味を楽しんでいました。(高橋文子)



応援に駆けつけた留学生たちと一緒に



ハサンさん (Caliskan Hasan)



ゼイナさん (Fathimath Zeyna Abdulla Saeed)

1.20(土)

トルコ

モルディブ

ゲストはハサンさん(トルコ)と、ゼイナさん(モルディブ)という若い外交官で、関西国際センターで専門日本語研修を受けています。



ゼイナさんは英語、ヒンズー語、韓国語など、語学に堪能な方です。珊瑚礁に囲まれた千以上もの小さな島々から成る国モルディブ。首都マレ



の面積は約4km²で端から端まで歩いて行ける。漁業とリゾート観光が中心だが主食の米などほとんどは輸入しているそうです。

そしてやはり地球温暖化の影響で、いくつかの島々は水没しつつあると、厳しい現状も話してくれました。(川端和子)



ハサンさんの国トルコは、多様な文化の交錯する歴史的背景から、お互いの違いを尊重し、共存することを大切にしている…それは人だけではなく、野良犬や猫にもとても寛容なのです。

トルコと日本の交流を描いた「海難1890」という映画

を紹介され、和歌山沖でのエル



JAPAN TÜRKİYE 100TH ANNIVERSARY OF DIPLOMATIC RELATIONS

トゥールル号の遭難救助の話は学校で皆が学び、日本人に敬意と感謝の念を持っていると聞き、胸が熱くなりました。

ディエゴさん (Diego Meneses)

2.17(土)

グアテマラ



ディエゴさんは在米グアテマラ共和国領事館内の商務参事官で、現在は関西国際センターで日本語研修中。今回魅力的な広報用動画をご持参いただき、スムーズな英語で経済面・観光面から母国について語って頂きました。公用語はスペイン語。メキシコをはじめ周辺4か国と国境を接し、北東はカリブ海、南は太平洋に面しています。



人口は中央アメリカで最多で、GDP もプラス続きの今勢いのある国です。その背景には国の立地条件の

良さがあり、海路や空路が充実して米国など周辺国にアクセスしやすく、自由貿易協定により物や人の往来が活発で、輸出の10%以上が農産物(コーヒーやバナナなど)の国内産業をバックアップ。立地条件に惹かれる外資参入も盛ん。中央アメリカ内で女性 CEO の数が一番多い国でもあり、見習うべきところがあります。



お土産のミサンガとworry dolls

お土産にマヤ族の方たちが作ったミサンガを頂戴しました。人口の40%を占めるマヤ族は、日本と同様、土着信仰や自然崇拝が一般的とのこと。遠い国の神様、これも何かの縁です。良い関係を築いていきましょう。

(虻江詩奈子)

カンガルークラブ クリスマスイベント

12.20(水)



“What do traditional Ukrainians put on their Christmas tree for good luck?”

H先生の質問に、参加者は頭をかかえます。カンガルークラブは英語が聞けて話せる上に、知識と教養も必要と思われがちですが、クリスマスイベントは、みなさんが和気あいあいとゲームやクリスマスソングを歌いました。

ことわざを言い当てる(もちろん英語で) ジェスチャーゲームでは、得意の英語で伝えることはNG、体で伝えなければなり



わかるかな～

ません。回答者たちも、何を表しているジェスチャーかまず気づかなければなりません。そして日本語のことわざがわかり、その英語のことわざ

を思い出し、英語で答えます。なかなかハードルの高いゲームです。と書くと堅苦しいですが、皆さんと書くと堅苦しいですが、皆さんの普段見られない顔の表情やジェスチャーを見ているだけでも楽しかったです。

最後はメンバーのウクレレ伴奏による「きよしこの夜」(もちろん英語で Silent Night)の楽しい時でした。

(取材: 広報部 内田満弥)



先生を囲んで



Spiderweb
おそ
のソング

ホームビジット

■ハサンさん /トルコ ゼイナさん /モルディブ

12.09(土)



クリスマスツリーの飾りもきらびやかなお宅に、関西国際センターで来日研修中のハサンさんとゼイナさんが訪問されました。ハサンさんはトルコの国家公務員、ゼイナさんはモルディブの外交官です。



初体験の着物は2人ともよくお似合いで、「とても嬉しい」とおっしゃっていました。特に女性のゼイナさんが頭に巻いている布・ヒシャブが和装とモダンにマッチングしていて素敵でした。

着物姿でさっそく日本の茶道文化を紹介。和室で薄茶を点てるお手前を見てもらい、クリスマスにちなんだ茶菓と薄茶を召し上がると「美味しい!」「初めての味!」とにっこり。

続いて夕食が始まりました。メニューは瓦そば、春巻き、天ぷら、サラダです。おふたりの母国のトルコとモルディブはイスラム教のハラール

ですので、豚肉やアルコールを含んだ調味料を口にするのは厳禁。相手国に配慮した献立を考え、調理して、ふるまうことも国際親善なのです。

食事中はお国の素晴らしさを勉強中の日本語で盛大に語ってくださいました。きっと母国に帰っても、楽しかった日本の思い出をPRしてくれることと思います。

(新矢由紀)



■マドゥさん /スリランカ トヤさん /モンゴル

01.22(月)



母国でも、国の政府関連の機関で就労されていて、更にスキルアップ研修のために来日されていました。

手巻き寿司をメインに、ホスト役の夫人手作りのご馳走に、皆さん、とても美味しいと喜んでおられました。

関西国際センターから2名の研修生がホストのお宅にホームビジットされていました。

スリランカのマドゥさん、モンゴルのトヤさんでした。

日本語がとても上手で、

私も、やさしい日本語を意識して話しましたが、最後に、「これで、お開きですね。」と言ったら、皆さんに伝わらなくて、言い直しました。日本語を説明するのは、つくづく難しいと思いました。

二人は、母国にご主人と子供さんを残して来



日されていました。熱心なその姿に、大変感動しました。私も、しっかりと日本語を教えられるように励みます。

(黒瀬恵子)

(中央地区公民館 日本語サロン)

日本語サロンで学ぶ外国人の日本語スピーチ。スーダンとフランス、中国からの3人です。発表の順番を「じゃんけん」で決めるのですが、紙・石・鉄の形が国によって異なり、なかなか進まず前途多難。やっと順番も決まりスピーチ開始。



オマルさん(スーダン)



ザビエさん(フランス)



呉さん(中国)

最初はスーダンのオマルさん。来日して5か月とはとても思えない上手な日本語で、スーダンの歴史や話じらいであろう内戦のことも語ってくれました。次は中国の呉さん。旅行した日本の地名がスラスラ出てきます。京都の金閣寺が一番のお気に入り。最後はフランスのザビエさん。モンサンミッシェルを流暢な日本語で説明。フランス料理のガレットのお店が岸和田にあることも教えてくれました。

3人のスピーチが終わった時、最初のオマルさんが、「もう一度させてください」と前に出てきました。自分では不満足だったので、更に流暢に堂々とスピーチしてくれました。納得するまで、何回でも繰り返す。語学の勉強の真髄を教えてもらいました。(取材: 広報部 内田満弥)



スピーチも終わり、みんなで歓談

日本語ボランティア養成講座

初級修了式

03.07(木)

第16期 日本語ボランティア養成講座(初級)の修了式が3月7日にありました。

18名の修了者に、井上實国際親善協会会長から修了証が授与されました。

上級編は4月11日から開講されます。

世界の民族衣装

中国編



漢服 (汉服)

日本語サロンに中国大連出身のKさんとお嬢さんが来てくださいました。ちょうど旧正月ということで、赤い民族衣装の「汉服」でおめかしして現れたお嬢さんの可愛らしさにサロンの雰囲気も和みました。

日本人にとって中国の伝統衣装として思い浮かべるのはチャイナドレスかもしれませんが。

しかしチャイナドレスは元来満州貴族の衣装「旗装」と洋服をミックスして定着したもの。お嬢さんが着ている「汉服」は、

現在も中国の人口の9割を占める漢民族の伝統的な衣装で、日本では「漢服」と表記していません。「漢服」は全体的にゆったりとした作りで、男女ともに襟があり、ワンピースタイプの他、写真のように上下別々の「上衣下裳」と呼ばれるフォーマル度の高いデザインがあるそうです。



旧正月なので「汉服」でおめかし

一時は衰退していた「漢服」ですが、近年、SNSの写真や動画に載せるため、中国の若い世代の間で漢服ブームが起こっているそうです。若者の漢服の着こなしはさまざまで、漢服にスニーカーやリュックを合わせたり、普段着としてさりげなくコーディネートしたりして、街のあちこちで撮影している姿が見られるようです。日本の若い人が、コスプレ感覚で和洋折衷スタイルの着物を着る現象とよく似ていますね。

ひょっとしたら日本、中国に限らず、世界的に自国の民族衣装を見直す若い人たちが増えてきているかもしれません。(新矢由紀)

韓国高校生ホームビジット

～ 日韓の架け橋 ～ 01.28(日)



23年前の2001年1月、東京・JR新大久保駅で線路に落ちた日本人乗客を救援するために事故死した韓国人留学生李秀賢(イ・スヒョン)氏の事を覚えていますか？

彼の勇気ある行動を称え、将来の日韓の「架け橋」となる韓国人高校生を育てるために、毎年、関西国際センターで研修が実施されています。



着物でおめかして
お城で記念撮影！

コクホ君は着物を着て、「拙者、コクホでござる。」
おいおい、『拙者』なんて言葉日本人でも使わないよ。

3月から大学生になる、チャン君の将来の夢は、日本に住んで日本で働くこと。コクホ君は韓国の超有名企業のS社に就職。でも働いてお金をためて、大学に行きます。」ときっぱり。

日韓関係が懸念される近頃、23年前に命を落とした、韓国青年の遺志を引き継いでいる若い韓国高校生と出会え、彼らが将来の日本と韓国の架け橋になることを確信しました。(内田満弥)

23回目となる今回、韓国全国から選ばれた20名の高校生うち、3名がホームビジットとして我が家を訪れました。

3人共、驚くほど日本語が流暢。「日本に留学していたの?」「高校では、日本語学科があるの?」と私。「いいえ、日本は初めてです。」「学校で日本語を話すのは私だけです。」「毎日インターネットや日本のビデオで学習しています。」と彼ら。

チャン君は、最近運転免許を取ったばかり、助手席に乗ると「日本ではあおり運転が多いですか?」「そんな言葉どこで覚えたの」と驚くばかりです。



お茶は初めてデス。

Informations

■2024年度総会

【日時】5月11日(土)
14:00～

【場所】泉会館 ホール

*詳しくはご案内をご覧のうえ、出席のご連絡を事務局へお願いします。

■英語クラブ、KIMONO クラブ生随時募集

初級英語クラブ

第2・4水曜日 13:30～15:30

中級英語クラブ「あすなる」

第2・4土曜日 10:00～12:00

上級英語クラブ「カンガルー」

第1・3水曜日 10:00～12:00

KIMONO クラブ

第2・4土曜日 13:30～15:30

*其々1回無料体験できますので、事務局へお申込みください。

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。

【日時】9月以外の第3土曜日
13:30～15:30

【場所】マドカホール 3F 視聴覚室

【費用】無料

*事務局へお申込みください。

先着 30 名まで受付します